

議事概要記録

開催日時	平成 26 年 1 月 11 日 13 時 00 分～16 時 00 分	開催場所	国保日高総合病院会議室
会議種別	平成 25 年度 第 5 回常務会理事会	議 長	
		書 記	田中 規仁
出席者 〈敬称略〉	玉置 達紀、竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、木下 博之、田中 規仁		
欠席者 〈敬称略〉		オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>平成 26 年度 予算案について</p> <p>平成 26 年度事業計画案について</p> <p>① 検査説明・相談のできる臨床検査技師育成</p> <p>② 公益事業</p> <p>1. 第 15 回医療セミナー in 和歌山</p> <p>2. 乳がん啓発事業</p> <p>3. 世界エイズデー (HIV/AIDS+STI の啓発と教育)</p> <p>4. 和歌山県民への HIV/AIDS+STI の啓発と教育 (出前)</p> <p>③ 学術部</p> <p>1. 第 17 回学術部一泊合同研修会</p> <p>2. 学術部研究班勉強会</p> <p>3. 平成 26 年度和歌山県精度管理事業</p> <p>4. 会誌和臨技</p> <p>5. 和歌山県臨床検査技師会 緊急時連絡規約</p> <p>④ 事務局</p> <p>1. 行事予定表</p> <p>2. 和臨技会報 63 号 64 号</p> <p>3. 和臨技ホームページ運営</p> <p>4. 平成 26 年度 全国健康と検査展 和歌山会場</p> <p>5. 平成 26 年度 和臨技オリエンテーション</p> <p>6. 総務</p> <p>⑤ その他</p>		
決議事項 及び 継続事項	<p>冒頭、会長より挨拶があった。</p> <p>平成 26 年度 予算案について</p> <p>大石経理部長より、収入の見込みと根拠についての説明があった。収入については会費値上げによる会費収入の増額が見込めるが、賛助会費や補助金・助成金等の殆どが減収と想定した収入案であるとの説明があった。</p> <p>支出に関しては、各事業部より提出されている予算案を満額計上した支出案になっているが、事業計画案を審議したうえで不要な予算等を削除したい旨の申し入れがあった。</p> <p>日臨技からの助成金（学術・公益）について動向が見えないが、24 日の全国幹事会である程度の進捗が見えるだろうとの事であった。</p>		

平成 26 年度事業計画案について

① 検査説明・相談のできる臨床検査技師育成

年末、日臨技に赴き指導を受けた内容について、達講習も含めて「査説明・相談のできる臨床検査技師育成講座」を開催する必要が有る。日臨技提示スケジュールでは若干時間的に執行が厳しい為、要点を中心に行いたいとの事であった。

患者相手に相談と説明を行うには、広範囲に深く知識をもって対応しなければならないかと危惧したが、深刻に受け止める心配はないであろうとのことであった。なお、施設連絡者会議にて竹中副会長から概要の説明を行い、伝達講習については総会の中で行う事となった。

② 公益事業

● 第 15 回医療セミナー in 和歌山

瀧口理事からの提出案。『「せき、たん、息切れ」貴方の肺は大丈夫?』として医師による講演と、会員による肺活量の講演会前検査の実施を企画した事業案であった。検査に対しては不具合が無いように周知広報する事と、予算を 20 万以内に留めるよう再考する事とし、事業案は承認され理事会審議に掛ける事となった。

● 乳がん啓発事業

平成 26 年度はピンクリボンとの共催を見直し、和臨技独自で講演会形式としての事業案が蓬台理事より提出された。須賀理事からの提出案では、従来のピンクリボン南紀とのコラボレーション案での提出案であった。

しかし、講演会形式は医療セミナー in わかやまが有る為、平成 26 年度は紀北開催を廃止し、須賀理事案のピンクリボン紀南で開催とする事となった。但し予算案は再考する事とし、事業案は承認され理事会審議に掛ける事となった。

● HIV/AIDS+STI 啓発と教育事業

和歌山大学際での VCT による迅速抗体検査および啓発ミニ講演会（世界エイズデー）と、和歌山県下高等学校・大学・専修学校への HIV/AIDS+STI 啓発活動（出前事業）の 2 本柱の事業計画案が田中理事から提出された。

事業案は認められたが、出前事業と世界エイズデーの 2 事業を 1 事業として予算化を組み直し、理事会審議に掛ける事となった。

③ 学術部

● 第 17 回学術部一泊合同研修会

平成 25 年度同様に、みなべの国民宿舎で企画と説明があった。事業案は承認され理事会審議に掛ける事となった。

● 学術部研究班勉強会

9 研究班運営費と会議費等々で予算化している事、参加費を取り各班で運営する事、余剰金は一般会計に返納する事、等々の説明が有り、理事会審議に掛ける事となった。

- 平成 26 年度和歌山県精度管理事業

今西理事からの提出案。会議費、試料輸送費、市販精度管理試料の購入費等で予算化との説明であった。プール血清・ボランティア採血由来の試料では、倫理の問題や異常域の調整が困難で有る事や、再サーベイが実施出来ない等の理由により、市販品購入の要望があった。事業案は承認され理事会審議に掛ける事となった。

- 会誌和臨技

瀧谷理事からの提出案。平成 26 年度 会誌和臨技第 42 巻について、発行部数を見直す事としたが、事業案は承認され理事会審議に掛ける事となった。

- 和歌山県臨床検査技師会 緊急時連絡規約

緊急時、災害等における技師会活動の中止の判断と連絡方法について、HP 掲載やメーリングリスト発信等の緊急時連絡(案)が示され、理事会審議に掛ける事となった。

④ 事務局

- 行事予定表

栗林理事より提出案。平成 25 年度の実績を元に予算化している。行事予定表を輪転機による印刷で行い、予算案より印刷費の経費削減が見込まれると説明があった。

- 和臨技会報 63 号 64 号

脇村理事からの提出案。平成 26 年度は 63 号・64 号の 2 号発行を考えている。項数削減が見込まれるので平成 25 年度よりは経費削減が見込まれると説明、理事会審議に掛ける事となった。

- 和臨技ホームページ運営

丸澤理事からの提出案。容量増加に伴うため、現契約の 50MB から +50MB 増設について申請があった。事業案は承認され理事会審議に掛ける事となった。

- 平成 26 年度 全国健康と検査展 和歌山会場

事務局提出案。パネル形式の検査展を医療セミナー in わかやまと併設で行う事とした。事業案は承認され理事会審議に掛ける事となった。

- 平成 26 年度 和臨技オリエンテーション

事務局提出案。開催を 4 月 26 日、会場を済生会和歌山病院講堂とした。事業案は承認され理事会審議に掛ける事となった。

- 総務

事務局提出案。総会議案書、封筒等の印刷費、会長賞等の副賞、その他慶弔費を含めた予算を説明した。総務費については承認され理事会審議に掛ける事となった。

	<p>補足：新たに、新人賞を設ける提案があった。名称等を表彰審査委員会で決定し理事会で提案する事となった。</p> <p>⑤ その他</p> <p>収支報告の明瞭化をめざすためには、専門家と顧問契約を結び指導を仰ぐ必要性ある。よって、新たに顧問契約料を予算計上する必要がある。</p> <p>本字案は理事会にて提案し審議に掛ける事となった。</p>				
記録作成	平成 26 年 1 月 30 日	氏 名	田中 規仁	提 出	平成 26 年 1 月 30 日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可